	<u>Eデ</u> ルニ]ア高専5	開講年度	平成27年度(2	2015年度)	授業科目	貿易物流概	稿
科目基础				•	•	•	•	
科目番号 0019					専門 / 二]ース必修		
授業形態							履修単位: 1	
		商船学	船学科		対象学年		4	
帮設期 後期					2			
			アルでわかる国際特		•	改 2		
担当教員								
到達目	 票	•						
1. 貿易 2. 国際	・物流経 規模で展	済の基礎知識 開される物流	識を身に付ける。 記システムの概要を	ସ୍ତ				
ルーブ!	<u> </u>							
				理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		ルの目安
評価項目1			できる	具体例を挙げて説明	物流について説			て説明できない
評価項目2			できる	具体例を挙げて説明	貿易について説明できる		る	て説明できない
評価項目			げて説明でき	について具体例を挙 る	国際間の物流について説明できる		国際間の物	流について説明できな
		票項目との	関係					_
教育方法	去等							
			うで行われる物流やり 、を理解する。	行われる物流や貿易にか関する基礎的事項を学ぶ。船舶の運航だけでなく、船舶が物流のどの部分を担ってい 理解する。				
受業の進	め方・方	法 一時には	中心に授業を進めては自身の経験や知識で は自身の経験や知識で に実習や乗船実習で	を発表する しゅうしゅう		問い +> +½ ト + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 + 15 +	に体体テンノ	
		前回σ)講義を踏まえて授	^{表々} な港や船の種類を 業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 〜提出・出席)等がす	前回の講義または	既に学んだことを	を復習しておく	ことないこと
	 画	前回の レポー レポー)講義を踏まえて授 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー)	業を進めていくので、	前回の講義または	既に学んだことな	を復習しておく。 西するので忘れ	ことないこと
	画	前回のレポーレポー	対議を踏まえて授事を記してで、 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 ∖提出・出席)等がす	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。	を復習しておく。 西するので忘れ <i>。</i> 標	ないこと
	画	前回の レポー レポー 1週	対象を踏まえて授業を開きませる。 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 ∖提出・出席)等がす	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価のできるの到達目である生成と発	を復習しておく。 画するので忘れ <i>。</i> 標 展について説明	ないこと
	画	前回のレポーレポー	の講義を踏まえて授業 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 ∖提出・出席)等がす	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できるの到達目物流の生成と発国際物流の概念ロジスティック	を復習しておく。 画するので忘れ。 標 展について説明 について説明で スとは何かを説	ないこと
		前回の レポー レボー	の講義を踏まえて授業 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 ∖提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価 過ごとの到達目 物流の生成と発 国際物流の概念	を復習しておく。 画するので忘れ。 標 展について説明 について説明で スとは何かを説。	ないこと できる きる
	画 3rdQ	前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週	の講義を踏まえて授業 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発) 国際物流の概念	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 週ごとの到達目をできる。 関際物流の概念 国際物流の概念 ロジスティック 要素を理解する。 港湾の役割を説	を復習しておく。 西するので忘れ。 標 展について説明 について説明で スとは何かを説。 明できる	ないこと できる きる
		前回の レポー 1週 2週 3週 4週 5週	対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できるの到達目物流の生成と発 国際物流の概念ロジスティック要素を理解する	を復習しておく。 画するので忘れ 標 展について説明 について説明で スとは何かを説。 明できる 明できる	ないこと できる きる 明できる。物流の構成
		前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週	対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 週ごとの到達目をできる。 関際物流の概念 国際物流の概念 ロジスティック 要素を理解する。 港湾の役割を説 空港の役割を説	を復習しておく。 画するので忘れ 標 展について説明で について説明で ことは何かを説。 明できる 明できる うことかを理解	ないこと できる きる 明できる。物流の構成
受業計画		前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、できます。 は、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できるの到達目をでいる。 週ごとの到達目をできる。 物流の生成と発 国際物流の概念 ロップをである。 本湾の役割を説 空港の役割を説 貿易とはどうい	を復習しておく。 画するので忘れ 標 展について説明で について説明で ことは何かを説。 明できる 明できる うことかを理解	ないこと できる きる 明できる。物流の構成
受業計画		前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	対しては、 は、では、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できるの到達目をでいる。 週ごとの到達目をできる。 物流の生成と発 国際物流の概念 ロップをである。 本湾の役割を説 空港の役割を説 貿易とはどうい	を復習しておく。 無するので忘れ 標 腰について説明で について説明で スとは何かを説。 明できる 明できる 明できる うことかを理解 コタームズを理	ないこと できる きる 明できる。物流の構成
受業計画		前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	対しては、 は、では、では、 は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 展 ス、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 週ごとの到達目物流の生成と発 国際物流の概念 可ジスティッする 港湾の役割を説 空港の役割を説 質易とはどうい 取引条件のイン	を復習しておく。 無するので忘れ。 標 展について説明で スとは何かを説。 明できる 明できる うことかを理解 コタームズを理 を説明できる	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 する
受業計画		前回の レポー 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	対しては、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 表 ス、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割 貨物輸送 1 貨物輸送 2	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。ことを条件に評価できる。 こことの到達目をできる。 こことの到達目をできる。 国際物流の概念のできる。 こことを発していまる。 できるの役割を説をできるの役割を説できる。 できるの役割を説りまる。 こことをできる。 できる こう	を復習しておく。 無するので忘れる 標 展について説明で について説明で スとは何かを説。 明できる うことかを理解 コタームズを理 を説明できる 、船舶の種類を	ないこと できる きさる 明できる。物流の構成 する 解する
受業計画	3rdQ	前回の レポー 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	講義を踏まえて授 ト課題を課すので、 ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発 国際物流の概念 ロジスティック 国際物流におけ 国際物流におけ 貿易とは 貿易の取引条件 中間試験 国際物流と海上 国際物流と海上	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 提出・出席)等がす 表 る 表 る を る を き で を り を り を り を り を り を り を り を り を り を	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。ことを条件に評価できる。 週ごとの到達目物流の生成と発 国際物流の概念 ロジステ理解する。 港湾の役割を説 空港の役割を説 質易とはどうい 取引条件のイン 海上輸送の発展 海上貨物の種類	を復習しておく。 無するので忘れる 標 展について説明で スとは何かを説 明できる 明できる うことかを理解 うことかできる うことかできる うことかできる 、船舶の種類を テナ化を説明で	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 する 解する 説明できる きる
受業計画		前回の レポー 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	講義を踏まえて授 ト課題を課すので、 ト課題を課すので、 ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発 国際物流の概念 ロジスティック 国際物流におけ 貿易とは 貿易の取引条件 中間試験 国際物流と海上 国際物流と海上 国際物流と海上	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす を表 る、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割 らででである。 は物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。ことを条件に評価できる。 週ごとの到達目物流の生成と発 国際物流の概念 回ジスを理解する。 港湾の役割を説 貿易とはどうい 取引条件のイン 海上輸送の発展 定期輸送のコン	を復習しておく。 無するので忘れば 標展について説明で について説明で ことは何かを説 明できる 明できる コタームズを理 を説明の種類を テナ化ついて説明で	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 する 解する 説明できる ぎる できる
受業計画	3rdQ	前回の レポー 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	対している。 は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす と表 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 と資物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 過ごとの到達目物流の生成との 国際物流の概念 可要素での役割を必要素のの役割を必要をでいます。 できるではどういます。 第月条件のイン 海上輸送の種類 定期をのできる。 海上貨物の種類 定期を必要とできる。 海上貨物の種類 定期を必要とできる。	を復習しておく。 無するので忘れ 標 について説明で ス。 明できる 明できる コタームズを理解 ことかる 理解 を説明の種類を テナについて説明で 送の発達につい	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 する 解する 説明できる ぎきる できる
受業計画	3rdQ	間 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	対議を踏まえて授います。 一ト課題を課すので、 一ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発 国際物流の概念 ロジスティック 国際物流におけた 貿易の取引条件 中間試験 国際物流と海上に 国際物流と海上に 国際物流と海上に 国際物流と流と流とに	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす と表 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 と資物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 過ごとの到達目物流の生成との 国際物流の概念 可要素をででいます。 芝港の役割を説 でである。 登場をはどうい 取引条件のイン 海上輸送の発展 定期を必要を展 定期を必要を展 定期を必要を展 定期を必要を表	を復習しておく。 無するので忘れば 標展について説明で ス。 明できる 明できる リカタームズを理解 を説明のできる ことかを理解 コタームズを理解 を説明の種類を テナについて説明で 送の発達につい	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 対する 説明できる きる できる できる できる
受業計画	3rdQ	間のの 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	対議を踏まえて授います。 一ト課題を課すので、 一ト、その他(ノー) 一段業内容 物流の生成と発 国際物流の概念 ロジスティック 国際物流におけた 貿易の取引条件 中間際物流とあ上た 国際物流と海上に 国際物流と海上に 国際物流と航空 国際物流と航空	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす と表 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 と資物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 過ごとの到達目物流の生成との 国際物流の概念 可要素をででいます。 芝港の役割を説 でである。 登場をはどうい 取引条件のイン 海上輸送の発展 定期を必要を展 定期を必要を展 定期を必要を展 定期を必要を表	を復習しておく。 無するので忘れた 標 展について説明で スとは何かを説明できる。明できる。 明できるカシアングを説明できる。 カンタームズを理解 を説船のできる。 デナについてきる。 デナについてきる。 にの発達について の発達について のできる。 にの発達について のできる。	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 対する 説明できる きる できる できる できる
受業計	3rdQ 4thQ	間に 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	講義を踏まえて授 - ト課題を課すので、 - ト、その他(ノー) 授業内容 物流の生成と発 国際物流の概念 ロジスティにおけ 国際物流におけ 貿易の取引条件 中間際物流とあ上 国際物流と海上 国際物流と海上 国際物流と海上 国際物流と流と流 国際物流と流と航空 期末試験	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす と表 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 と資物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1	前回の講義または	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 ことの到達目物流の生成の概念の生成の概念のできる。 おきの役割を説っている。 おきの役割を説っている。 おきのでは、 この発展を関係がある。 このでは、 こ	を復習しておく。 無するので忘れた 標 展について説明で スとは何かを説明できる。明できる。 明できるカシアングを説明できる。 カンタームズを理解 を説船のできる。 デナについてきる。 デナについてきる。 にの発達について の発達について のできる。 にの発達について のできる。	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 対する 説明できる きる できる できる できる
受業計	3rdQ 4thQ	調 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	講義を踏まえて授 ・ト、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす を表 る、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1 貨物輸送 1 貨物輸送 2	前回の講義またはすることべてなされている	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 ことを外に評価できる。 ことの到達目物流の生成と思う。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	を復習しておく。 標 展について説明で 展について説明で でできる。 明できるかを理解 うコタームでき種類を を説明のを説明のできる。 、 計算を ができる。 、 計算を を説明ではいいできる。 、 計算を ができる。 、 ができる。 、 ができる。	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 する 解する 説明できる きる できる 説明できる いて説明できる。
授業計(3rdQ 4thQ	間回のプレスポーツ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週	講義を踏まえて授います。 - ト、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす 、表 、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 。 貨物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 2 貨物輸送 2	前回の講義またはすることべてなされている	既に学んだことでことを条件に評価できる。ことを条件に評価できる。 ことを条件に評価を関連を表している。 おっている できない できない できない できない できない できない できない できない	を復習しておく。 標展について説明で説のでいて説明で記していないできる。 明できとかんズをきるかを理解 を説明のできるができまかができます。 を説明ののではできます。 を説明ののではできます。 を説明ののではでいて説明のではできます。 を説明ののではできます。 を説明ののではでいている。 は、一世にの発達についてはいいではない。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世に	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 対する 説明できる きる できる できる できる できる できる いきる いて説明できる。
授業計成 後期 総合評価	3rdQ 4thQ	前回の	講義を踏まえて授い。 一 一 一 一 一 一 一 一 一	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす を表 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 る空港の役割 は物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 1 貨物輸送 2	前回の講義またはすることべてなされている 態度 5	既に学んだことでことを条件に評価できる。 ことを条件に評価できる。 週ごとの到達目物流の生成との 国際が流の概念 可要素質の役とはごうい。 取引条件のイン 海上貨物の種類 定期輪の速度と 船舶の速度と 上貨物をの 電際質物輸送の 国際貨物輸送の 国際貨物輸送の 国際貨物輸送の 国際貨物輸送の は、ここで に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、対して、 に、が、が、に、 に、対して、 に、が、に、が、に、 に、、 に、	を復習しておく。 標度について説明で説明で記していて説明できる。 明できるる。 明でききかかが、 明のできるかを理解 を、からないでできる。 、からないでの発達の発達の発達ができる。 、がいるでは、 、いるでは、 、いるでは、いるでは、 、いるでは、 、いるでは、 、いるでは、 、いるでは、 、いるでは、 、いるでは	はいこと できる きる ・明できる。物流の構成 はする 説明できる ごきる できる できる できる いて説明できる。
注意点 授業計 機 調 一個 割 個 一個 一	3rdQ 4thQ	間回のプレスポーツ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週	講義を踏まえて授います。 - ト、	業を進めていくので、 期限に遅れずに提出 、提出・出席)等がす 、提出・出席)等がす 、表 、物流の構成要素 る港湾の役割 る空港の役割 る空港の役割 。 貨物輸送 1 貨物輸送 2 貨物輸送 3 貨物輸送 4 貨物輸送 2 貨物輸送 2	前回の講義またはすることべてなされている	既に学んだことでことを条件に評価できる。ことを条件に評価できる。 ことを条件に評価を関連を表している。 おっている できない できない できない できない できない できない できない できない	を復習しておく。 標展について説明で説のでいて説明で記していないできる。 明できとかんズをきるかを理解 を説明のできるができまかができます。 を説明ののではできます。 を説明ののではできます。 を説明ののではでいて説明のではできます。 を説明ののではできます。 を説明ののではでいている。 は、一世にの発達についてはいいではない。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世にはいる。 は、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世には、一世に	ないこと できる きる 明できる。物流の構成 対する 説明できる きる できる できる できる できる できる いきる いて説明できる。